

Aloysia Quartet アロイージャ カルテット



アロイージャ弦楽四重奏団は2018年夏、名古屋フィルハーモニー交響楽団の小泉悠（第一ヴァイオリン）、田中光（第二ヴァイオリン）、今村聡子（ヴィオラ）、加藤泰徳（チェロ）のメンバーにより結成された弦楽四重奏団である。

名フィルの活動拠点である名古屋を中心に古典から近現代音楽まで幅広いレパートリーで活動している。アロイージャ（モーツァルトの想い人）の名を冠し特にモーツァルト作品の演奏に力を入れている。2020年からベートーヴェン弦楽四重奏曲作品18（第1番～第6番）の連続演奏会を開催し好評を得ている。



小泉悠 KOIZUMI Yu（ヴァイオリン）

2008年東京音楽大学を卒業。第7回日本アンサンブルコンクール室内楽部門優秀演奏者賞、全音楽譜出版社賞を受賞。第7回大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門第3位。文化庁委託事業〈平成26年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業〉新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズに出演、梅田俊明指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団とコルンゴルトのヴァイオリン協奏曲を共演。2018年名古屋ソリストを創設。アロイージャ弦楽四重奏団始動。弦楽四重奏、ソリスト、レコーディング、カフェなどでのライブ、大学オーケストラや、アマチュアオーケストラの指導も行なっている。

2013年8月より名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者。



田中光 TANAKA Hikaru（ヴァイオリン）

千葉県出身。第11回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門第3位。第12回同コンクールアンサンブル部門第1位。これまでにヴァイオリンを吉川朝子、澤和樹、原田幸一郎、玉井菜採、野口千代光の各氏に師事。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部卒業。2014年から2016年まで兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)に所属。フォアシュペラーを務める。

2017年4月より名フィルヴァイオリン奏者。

今村聡子 IMAMURA Satoko（ヴィオラ）

福島県福島市出身。6歳からヴァイオリンを始める。武蔵野音楽大学ヴィオラ専攻卒業、卒業演奏会に出演。1997年より6年間オーストリア、ウィーンにて研鑽を積みウィーン市立音楽院を最優秀の成績で卒業、ディプロムを得る。これまでにヴィオラを磯良夫、ヘルベルト ミュラーの各氏に師事。2000年、2002年PMF（Pacific Music Festival）に参加。出身地福島では「アンサンブルF」の創立メンバーとして多数の演奏会に室内楽奏者、ソリストとして出演している。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団次席ヴィオラ奏者。アンサンブル リナーテ メンバー。2020年度、2022年度東海市芸術劇場専属アーティスト・イン・レジデンスを務める。



加藤泰徳 KATO Yasunori（チェロ）

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。昭和音楽大学研究科卒業。菅野博文氏のもとで研鑽を積む。原村室内楽セミナーにて「緑の風奨励賞」を受賞。テアトロジュー・オショウワオーケストラに在籍し首席チェロ奏者等を務めたほか、客演奏者として多数のオーケストラ公演に出演。また作曲家としてBENETTON、ohta、日本盲導犬協会、火田栓子氏の朗読劇、岡本太郎生誕100年を記念する弦楽四重奏曲等を作曲。昭和音楽大学講師を経て現在、名フィルチェロ奏者。

